

次世代育成研究・児やらい



尚綱大学短期大学部子育て研究センター

第8巻

2011年

はじめに

第8巻の発刊を迎えて、これまでの「次世代育成研究・見やらい」の投稿論文の変化と特徴に触れてみたい。表1は第1巻から8巻までの論文総数と研究センターの研究員と外部からの投稿の比率を示している。

表1 第1巻から第7巻までの論文変遷（「次世代育成研究・見やらい」）

巻	論文数	研究員	外部
第1巻	2	2	0
第2巻	3	0	3
第3巻	4	2	2
第4巻	4	1	3
第5巻	2	1	1
第6巻	3	1	2
第7巻	5	4	1
第8巻	5	3	2

表1から、次のことが読み取れる。①論文の数は、年度毎にバラツキがあるが、近年増加傾向にあり、第8巻はこれまで最高の論文数である、②研究員の論文数に関しても増加傾向にある、③外部の投稿が、創刊号を除いて一定の比率で見られる。

①②から、論文数及び研究員の論文数には近年増加傾向にあり、この傾向の継続が望まれる。③に関しては、研究員だけでなく、子育てに関心をもつ多くの実践家や研究者に門戸を開き、子育てに関する多様な視点の統合ができれば、あるいは野に埋もれた有能な人材を発掘する契機になればと思っている。ワークライフバランスの議論が盛んになりつつも、父親の立場からの発言が、子育ての動向に影響を与えるまでには至っていない。父親の視点からの投稿も期待したい。

平成23年4月

子育て研究センター長

浜崎 幸夫

目 次

はじめに	(センター長)	1
------	---------	---

I 論文

1	依存と問題行動 -母親の愛着関係と依存-	3
	緒方 宏明(尚綱大学短期大学部幼児教育学科)	
2	子育て家庭の暮らしと地域福祉活動の視点	13
	増淵千保美(尚綱大学短期大学部幼児教育学科)	
3	父親の育児関与と「子育ての4つの領域」	27
	浜崎 幸夫(尚綱大学短期大学部幼児教育学科)	
4	「待つ支援」から「届ける支援」へ	37
	隈部 泰子(親育ち支援の会)	
5	「おむつなし育児」どう伝えるか	43
	竹田 祐子(おむつなし育児研究所)	

II 平成22年第10回公開シンポジウム

1	第10回公開シンポジウム(10周年)に思う	51
	浜崎 幸夫(子育て研究センター)	
2	「子ども支援」の旗を挙げよ!	55
	村上 千幸(山東保育園)	
3	“くらし”の中の子育て・子育て支援-“くらし”の捉え直しと“育む(羽包む)”の見直し	63
	竹下 昭代(子育て研究センター)	
4	子育て家庭を支える地域福祉活動の視点から	71
	増淵千保美(子育て研究センター)	
5	自然に育つ子育て・・・!	73
	小林 修(環境省環境カウンセラー)	